

2. 単独機材供与実績

No.	国名	機材名	数量	金額(円)	供与先	人との関連
1	中国	農用抗生物質分析機材	1式	37,078,000	化学工業部, 上海農薬研究所	研修員
2	大韓民国	環境資料分析用機材	〃	46,480,000	延世大学理科学部	〃
3	タイ	労働安全衛生教育用機材	〃	22,866,468	労働局労働環境改善研究所	専門家・研修員
4	エジプト	情報整備用機材	〃	29,066,105	特別国家評議会	〃
5	シリア	放送用機材	〃	38,676,359	大統領府科学研究調査センター	研修員
6	ブルキナファソ	〃	〃	44,202,389	国営テレビ公社	〃
7	ガボン	〃	〃	32,509,827	情報郵政省	〃
8	ギニア	漁業センター用機材	〃	20,044,702	漁業庁	〃
9	象牙海岸	医療用機材(第三国研修)	〃	28,500,042	アビジャン大トレッシュヴル病院	専門家・研修員
10	ザンビア	稲作関係用機材	〃	29,132,638	農業局	協力隊員・研修員
11	ブラジル	医療用機材	〃	24,164,714	アマゾンア病院	研修員
12	ドミニカ共和国	放送用機材	〃	32,743,632	大統領府国営放送局	〃
13	パナマ	地図作成用機材	〃	16,108,188	公共事業省	専門家・研修員
14	フィジー	電気通信用機材(第三国研修)	〃	4,242,000	通信運輸事業省	〃
		合計		405,765,014		

3. 文献供与実績

(1) 一般図書

No	文 献 名	総 部 数	供 与 対 象 研 修 コ ー ス 分 野
1	ルック ジャパン (月刊)	57,600	運輸交通, 社会基盤, 通信放送, 人的資源, 保健医療, 社会福祉
2	ファーミング ジャパン (隔月刊)	8,400	農業, 畜産, 林業, 水産
3	テクノ ジャパン (月刊)	18,000	鉱業, 工業, エネルギー
4	ザ ジャパン エコノミック レビュー (月刊)	22,800	開発計画, 行政, 公益事業, 商業貿易, 観光, 科学文化
5	ジャパン エコー (年5回刊)	1,000	高級研修員
6	インター セクト (月刊)	7,200	準高級研修員
	合 計	115,000	

## (2) 技術図書

No	集団研修コース名	文 献 名	送付部数
1	選鉱精錬	QUANTITATIVE ANALYSIS OF ROCKS AND MINERALS BY X-RAY. (JTR-607-A)	8
2	家畜人工受精	ATLAS OF THE BRAINS OF DOMESTIC ANIMALS FARM ANIMALS OF JAPAN	5
3	地熱エネルギー	GEO THERMAL RESERVOIR ENGINEERING 1983	9
4	産業医学	OCCUPATIONAL CANCER 1986	12
5	養殖一般	WATER QUALITY MANAGEMENT FOR POND FISH CULTURE	8
6	沿岸漁具漁法(実技)	ILLUSTRATIONS OF JAPANESE FISHING BOATS	17
7	〃 (理論)	〃	10
8	航海技術	COLLECTED MARITIME LAW	10
9	臨床看護実務	NURSING IN THE WORLD; THE NEEDS OF INDIVIDUAL COUNTRIES AND THEIR PROGRAMMES	5
10	公衆衛生技術者	CLINICAL LABORATORY METHOD	5
11	森林土壌	PRIMARY PRODUCTIVITY OF JAPANESE FORESTS: PRODUCTIVITY OF TERRESTRIAL COMMUNITIES	4
12	日本語専修(A及びB)	ことばのきまり(1年~6年)	18
13	海洋保全	THE LAW ON LIABILITY FOR OIL POLLUTION DAMAGE	4
14	情報処理マネージメント	システム開発の生産性(PROGRAMMING PRODUCTIVITY)	23

No	集団研修コース名	文 献 名	送付部数
15	情報処理シニアA・B	RECOMMENDED DIAGRAMMING STANDARDS FOR ANALYSTS AND PROGRAMMER	25
16	情報処理インストラクター	〃	22
17	情報処理パソコンA・B	STRUCTURING BASIC PROGRAMS	27
18	鋳造技術	70TH ANIVERSARY SPECIAL ISSUE PART2	9
19	金属加工	〃	11
20	金属表面処理	〃	8
21	熱処理	〃	9
22	電気製鋼	HANDBOOK OF COMPARATIVE WORLD STEEL STANDARDS	10
23	溶接技術	SIGNIFICANCE OF DEFECTS IN WELDED STRUCTURE	11
24	中小工業開発セミナー	DEVELOPING ECONOMIES AND JAPAN	15
25	養 鶏	FARM ANIMALS OF JAPAN	8
26	酵素工学	UNDERSTANDING ENZYME	5
27	農業機材整備	農業機械設計コースのテキスト(№1~5)	13
28	稲作機械化	MECHANIZATION OF JAPANESE AGRICULTURE	12
29	農業機械設計	FARM MACHINERY AND EQUIPMENT SIXTH EDITION SANITA AND WILLAL	10
30	稲作(一般)	RICE CULTIVATION FOR THE MILLION HIGH YIELDING RICE CULTIVATION	12
31	稲作(専修)	〃	8

No.	集団研修コース名	文 献 名	送付部数
32	灌漑排水	ADVANCED RICE CULTIVATION IRRIGATION AND DRAINAGE TECHNOLOGY IN JAPAN VISUAL CONSTRUCTION PROCEDURE IN IRRIGATION AND DRAINAGE IN JAPAN	12
33	水 管 理	〃	9
34	野菜生産	PRINCIPLES OF VEGETABLE SEED PRODUCTION (開発途上国の実務のための「野菜採種原論」)	135
35	職訓指導員(建築科)	PROPOSALS FOR THE COMPETITION OF NEW TOKYO CITY HALL MEASURE & CONSTRUCTION OF THE JAPANESE HOUSE SPACE IN JAPANESE ARCHITECTURE	6
36	〃 (電気科)	ELECTRONIC INSTRUMENTATION AND MEASUREMENT TECHNIQUES(2nd) BY WILLIAM D COOPER AUTOMATIC CONTROL/SEIOR CONDUCTORS FOUNDATION OF APPLIANCES JOB SHEETS OF ELECTORONICS	9
37	電子科	ELECTRONICS TECHNOLOGY BASIC CIRCUIT THEORY BY CHARLES A, DESDERE EREMEST S. KUH	7
38	〃 (機械科)	MANUAL OF CNSTRUCTION FOR DESIGN	9
39	〃 (木材加工科)	THE ENCY LOPEDIA OF WOOD SAWS DISIGN, SELECTION OPERATION MAINTENANCE	6
40	地方行政	REGIONAL DEVELOPMENT IN SOUTHEAST ASIAN COUTRIES	12
41	森林造成技術者	PRIMARY PRODUCTIVITY OF JAPANESE FOREST PRODUCTIVITY OF TECHNICAL COMMUNITIES	14

No.	集団研修コース名	文 献 名	送付部数
42	家畜人工受精	ATLAS OF THE BRAINS OF DOMESTIC ANIMALS	5
43	下水道技術	SERVAGE WORKS IN JAPAN 1986	12
44	通信線路技術	TELECOMMUNICATION OUTSIDE PLANT ENGINEERING	20
45	工業所有権セミナー	JOURNAL OF THE JAPANESE GROUP OF AIPPI [A.I.P.P.I.]	9
46	工業所有権制度	〃	11
47	工業標準科	GLOSSARY OF TERMS USED IN QUALITY CONTROL	16
48	認証検査制度	〃	10
49	インダストリアルデザイン	(現物原課で準備)	4
50	Dr, Gouri Padhi	CULTURE OF JAPAN	1
51	Eng, Paulo Merbach Jr,	ENVIRONEMNT ENGINEERING	1
52	Mr, Willigs Mathias Mwenda	FAMILY PLANNING	1
		合 計	662

## IV 日本語研修・オリエンテーション実績

日本語研修は、技術研修上とくに日本語の修得を必要とする集団および個別研修コースの研修員を対象とする集中講習、および研修員全体を対象として日常生活の円滑化とわが国に対する理解を深めることを目的とする一般講習に分けられ、それぞれ東京国際研修センターをはじめ各国際研修センター等で実施している。

また研修の一環として、技術研修に先立ち3日～5日のプログラムで、わが国の一般事情、研修および日常生活上の心得等について、主として、集団研修コースの研修員を対象として、オリエンテーションを東京国際研修センター、八王子国際研修センター、名古屋国際研修センター及び沖縄国際センターで実施している。

1. 日本語研修・オリエンテーション参加研修員実績

実施機関	オリエンテーション		日本語研修			
	実施回数	参加人員	集中講習		一般講習	
			クラス数	参加人数	クラス数	参加人員
東京国際研修センター	58	2,487	49 (1)	392 (6)	31	753
八王子国際研修センター	15	209	6	52	13	171
大阪国際研修センター	—	—	4	29	11	130
名古屋国際研修センター	16	147	16	185	9	135
筑波インターナショナルセンター	—	—	9	109	13	253
神奈川国際水産研修センター	—	—	8	54	8	54
兵庫インターナショナルセンター	—	—	4	41	1	21
沖縄国際センター	12	226	6	58	12	140
東北支部	—	—	1	8*	—	—
九州支部	—	—	—	—	9	88
外部機関	—	—	2	22	—	—
計	96	3,069	105 (1)	942	107	1,745

(注) (1) ( )内の数字は前年度からの継続分の外数である。

(2) 外部機関とは、オイスカ等JICAが日本語研修の実施を委託した機関である。

(3) \*東北支部で実施した集中講習は、東京国際研修センターで実施した集中講習の継続であるので合計には加えない。

2. センター・支部別日本語集中講習実施状況一覧

(1) 東京国際研修センター

受入 形態	研修コース名 (研修科目)	国名	人数	日本語講習時間数		
				集中A	一般B	A+B
集団	家畜人工受精	チリ他	5	245		245
集団	農業普及	インドネシア他	14	80		80
集団	生活改善普及	インドネシア他	8	80		80
集団	森林造成技術	ビルマ他	18	50		50
〃	〃	パキスタン	1	25		25
集団	エビ増養殖技術	メキシコ他	6	200		200
集団	船舶技術(A)	ビルマ他	11	211		211
集団	船舶技術(B)	アルゼンチン他	11	252		252
集団	選鉱製錬	ブラジル他	8	225		225
集団	研究開発	ブラジル他	9	245		245
集団	結核対策	バングラデシュ他	19	38		38
集団	結核対策細菌技術	ペルー他	5	70		70
集団	看護管理	メキシコ他	6	60		60
集団	専門看護	ネパール他	8	285		285
集団	精神薄弱福祉	ビルマ	10	75		75
集団	補装具製作技術	タイ他	4	100		100
集団	犯罪防止	スーダン他	16	18		18
〃	〃 (矯正保護)	ブルネイ他	15	18		18
集団	消防行政(刑事司法)	ブラジル他	10	65		65
集団	貿易振興セミナー(B)	アルゼンチン他	11	23		23
合計	19コース		190			
受入 形態	研修コース名 (研修科目)	国名	人数	日本語講習時間数		
				集中A	一般B	A+B
日墨	日墨交流計画・水産養殖	メキシコ	1	115		115
合計	1コース		1			

受入 形態	研修コース名 (研修科目)	国名	人数	日本語講習時間数		
				集中A	一般B	A+B
単発	中国経営管理(再)	中国	6	16.5		6.5
〃	財政学	韓国	1	90		90
〃	会計検査実務	スリランカ	1	210		210
〃	農業化学	エジプト	1	115		115
〃	漁業	ミクロネシア	2	90		90
〃	〃	ミクロネシア	1	65		65
〃	水産経済経営	メキシコ	1	210		210
〃	鉱産物研究	中国	2	210		210
〃	中国鉱産物研究	中国	1	290		290
〃	〃	中国	1	235		235
〃	マイクロケーブル保守	ギニア	3	140		140
〃	超音波技術	ユーゴスラビア	1	185		185
〃	太陽エネルギー研究	中国	1	110		110
〃	食品微生物	ペルー	1	70		70
〃	熱帯病理学	インドネシア	1	120		120
〃	特設魚類・生理防疫	アルゼンチン	5	40		40
合計	14コース		29			

受入 形態	研修コース名 (研修科目)	国名	人数	日本語講習時間数		
				集中A	一般B	A+B
C/P	農業開発	パラグアイ	1	245		245
C/P	農業研究	インドネシア	3	175		175
C/P	農業機械	パラグアイ	1	260		260
C/P	農業普及関係協力	タイ他	5	100		100
C/P	稲作	パラグアイ	1	50		50
C/P	稲育種	ペルー	1	315		315
C/P	作物保護	インドネシア	1	100		100
C/P	畑作	フィリピン	1	110		110
C/P	野菜生産	インドネシア	1	195		195
C/P	果樹研究	ウルグアイ	1	75		75
C/P	ぶどう栽培	ネパール	1	75		75
C/P	三江平原農業総合試験所	中国	2	90		90
"	"	"	1	210		210
C/P	植物分析	ボリビア	1	100		100
C/P	植物病理	ボリビア	1	50		50
C/P	園芸開発計画	ケニア	2	95		95
C/P	家畜衛生	パラグアイ	1	70		70
"	"	"	1	235		235
C/P	家畜栄養	パラグアイ	1	215		215
C/P	畜産品種改良	ボリビア	1	115		115
C/P	養鶏	ビルマ	1	100		100
C/P	林業開発	パラグアイ	2	260		260
C/P	"	"	1	315		315
C/P	木材生産技術	タイ	1	160		160
"	"	"	1	"		"
C/P	木材総合利用研究	中国	1	125		125
C/P	造林研究訓練	タイ	1	150		150
C/P	水産加工技術	中国	1	125		125

受入 形態	研修コース名 (研修科目)	国名	人数	日本語講習時間数		
				集中A	一般B	A+B
C/P	魚のすり身加工技術	中国	1	125		125
C/P	昆布食品加工技術	中国	1	105		105
C/P	昆布乾燥	中国	1	210		210
C/P	金属加工	タイ	1	215		215
"	"	"	1	215		215
"	"	"	2	220		220
"	"	"	1	210		210
C/P	ブリケット製造および炭化	タンザニア	1	210		210
C/P	機械工学	フィリピン	1	225		225
C/P	土木工学	フィリピン	1	160		160
C/P	薬品品質管理	インドネシア	1	115		115
"	"	"	2	100		100
C/P	生化学	コロンビア	1	100		100
C/P	獣医ワクチン製造	モーリシャス	1	50		50
C/P	動物研究	フィリピン	1	160		160
C/P	動物医薬品検定	インドネシア	3	225		225
"	"	"	1	125		125
C/P	肉類研究, 加工技術	中国	3	100		100
C/P	根粒菌の菌学的確認と血清学	フィリピン	1	90		90
C/P	ブルセラ病	パラグアイ	1	155		155
C/P	結核対策	北イエメン	1	16		16
C/P	結核対策細菌技術	イエメン	1	70		70
C/P	臨床検査	パラグアイ	1	95		95
C/P	臨床検査	パラグアイ	1	105		105
C/P	小児集中医療	エジプト	1	95		95
"	"	"	1	75		75
C/P	看護教育	タイ	3	200		200
C/P	プライマリー・ヘルスケア	タイ	1	105		105
C/P	スリジャヤワルダ総合病院内視鏡	スリ・ランカ	1	90		90



受入形態	研修コース名 (研修科目)	国名	人数	日本語講習時間数		
				集中A	一般B	A+B
C/P	スリジャワラダ総合病院医療実験	スリランカ	1	105		105
C/P	スリランカ総合病院内視鏡	〃	1	125		125
C/P	中日友好病院	〃	20	125		125
C/P	マイクロコンピューター	フィリピン	1	225		225
C/P	特許情報検索	中国	7	60		60
C/P	中国経営管理	中国	15	130		130
C/P	バス公社経営管理	ブルンジ	1	65		65
C/P	車輛整備	トーゴ	1	215		215
C/P	航海計器	マレーシア	1	210		210
C/P	地下水開発	エチオピア	2	110		110
C/P	水道技術訓練	タイ	4	105		105
C/P	職業訓練	セネガル	2	592.5		592.5
C/P	職業訓練	ペルー	2	33.5		33.5
C/P	職業訓練	インドネシア	1	285		285
C/P	職業訓練	ペルー	1	270		270
C/P	職業訓練	ブラジル	2	85		85
C/P	職業訓練	インドネシア	3	315		315
C/P	マレーシア職業訓練指導員	マレーシア	6	285		285
C/P	ガーナ大学野口研究所	ガーナ	1	110		110
C/P	日シ技術学院	シンガポール	1	275		275
C/P	日・シ技術学院	シンガポール	3	335		335
C/P	日本・パナマ職業訓練	パナマ	3	330		330
C/P	労災リハビリテーションセンター	タイ	1	330		330
〃	〃	〃	1	330		330
C/P	日墨技術教育センター	メキシコ	6	260		260
C/P	ケニア・ジョモケニアッタ農工大食品加工	ケニア	1	65		65
C/P	ケニア・ジョモケニアッタ農工大農業工学	ケニア	1	190		190
〃	〃 電気工学	ケニア	1	〃		〃
〃	〃 農業機械	ケニア	1	〃		〃

受入形態	研修コース名 (研修科目)	国名	人数	日本語講習時間数		
				集中A	一般B	A+B
C/P	ケニア・ジョモケニアッタ農工大建設機械	ケニア	1	190		190
合計	81コース		166			

受入形態	研修コース名 (研修科目)	国名	人数	日本語講習時間数		
				集中A	一般B	A+B
国際	結核対策	ベトナム 他	2	37		37
国際	日本語研修	タイ	2	285		285
国際	日本語	タイ	2	345		345
合計	3コース		6			

(2) 八王子国際研修センター

受入形態	研修コース名 (研修科目)	国名	人数	日本語講習時間数		
				集中A	一般B	A+B
集団	職業訓練指導員コース	タイ 他20ヶ国	52	300	0	300

(3) 大阪国際研修センター

受入形態	研修コース名 (研修科目)	国名	人数	日本語講習時間数		
				集中A	一般B	A+B
集団	上級技能者訓練コース	ビルマ 他8ヶ国	10	85	82	167
集団	金型工作技術コース	中国 他4ヶ国	4	300	—	300
集団	貨幣・勲章製造コース	インド 他4ヶ国	6	135	46	181
集団	医療放射線技術エース	チリ 他5ヶ国	9	143	32	175
集団合計	4コース		29			

## (4) 名古屋国際研修センター

受入 形態	研修コース名 (研修科目)	国名	人数	日本語講習時間数		
				集中A	一般B	A+B
集 団	工業開発計画実務	タンザニア 他12ヶ国	18	95	50	145
集 団	粘着彩技術	ビルマ 他4ヶ国	6	97.5	40	137.5
集 団	綿織布技術	ネパール 他6ヶ国	8	105	40	145
集 団	金属表面処理技術	中 国 他6ヶ国	7	105	40	145
集 団	養 鶏	フィリピン 他6ヶ国	8	90	—	90
集 団	窯業技術	バングラデシュ 他6ヶ国	7	262.5	—	262.5
集 団	溶接技術	ブラジル 他11ヶ国	12	290	—	290
集 団	鋳造技術	ブラジル 他10ヶ国	11	100	50	150
集 団	タイル製造技術	フィリピン 他8ヶ国	9	95	50	145
集 団	木材工業機械	インドネシア 他9ヶ国	10	97.5	30	127.5
集 団	金属加工技術	マレーシア 他9ヶ国	10	105	50	155
集 団	耐火物製造技術	エジプト 他7ヶ国	8	95	50	145
集 団	冶工具生産技術	ビルマ 他7ヶ国	8	92.5	40	142.5
集 団	中小企業振興指導者訓練	ブラジル 他7ヶ国	11	105	40	145
集 団	熱処理技術	ブラジル 他7ヶ国	9	100	26	126
集 団	電気製鋼技術	トルコ 他8ヶ国	10	87.5	26	113.5
集 団	計量標準	パキスタン 他3ヶ国	4	16	0	16
集 団	中小工業開発セミナー	ブラジル 他11ヶ国	15	4	0	4
特 設	中小企業診断	インドネシア	12	25	7	32
C/P	食品検査	トンガ	1	6	0	6
C/P	内 視 鏡	バングラデシュ	1	12	0	12
C/P	植物分析	ボリビア	1	40	0	40
C/P	消化器系	ウルグァイ	1	26	0	26
C/P	冶工具生産技術		2	92.5	50	142.5
C/P	木材工業機械		1	97.5	30	127.5
合 計	25 コース		185			

## (5) 筑波インターナショナルセンター

受入 形態	研修コース名 (研修科目)	国名	人数	日本語講習時間数		
				集中A	一般B	A+B
集 団	沿岸鉱物資源	トルコ 他9ヶ国	11	42.5	22.5	65
集 団	稲作機械化	ギニアビサオ 他10ヶ国	11	50	—	50
集 団	稲作専修	ニカラグア 他8ヶ国	10	50	—	50
集 団	かんがい排水	モロッコ 他9ヶ国	14	50	—	50
集 団	野菜生産	西サモア 他9ヶ国	11	37.5	—	37.5
集 団	農業機械設計	バングラデシュ 他8ヶ国	11	30	—	30
集 団	稲作一般	バングラデシュ 他9ヶ国	13	45	—	45
集 団	野菜採種	タンザニア 他8ヶ国	11	37.5	—	37.5
特 設	水 管 理	ブラジル 他9ヶ国	10	25	—	25
集 団	放射線科学基礎研究	中 国 他5ヶ国	7	82.5	—	82.5
合 計	10 コース		109			

## (6) 神奈川国際水産研修センター

受入 形態	研修コース名 (研修科目)	国名	人数	日本語講習時間数		
				集中A	一般B	A+B
集 団	沿岸漁員漁法(実技)	アルゼンチン 他14ヶ国	17	45	64	109
集 団	漁業協同組合	インドネシア 他8ヶ国	11	45	64	109
集 団	沿岸漁員漁法(理論)	キューバ 他6ヶ国	8	45	66	111
集 団	養殖一般	カメルーン 他9ヶ国	10	45	66	111
集 団	小型漁船の船体機関保守	コモロ 他7ヶ国	8	45	66	111
合 計	5 コース		54			

## (7) 兵庫インターナショナルセンター

受入 形態	研修コース名 (研修科目)	国名	人数	日本語講習時間数		
				集中A	一般B	A+B
集団	稲病害虫防除コース	バングラデシュ 他9ヶ国	13	55	16	71
集団	貿易実践指導者コース	ビルマ 他12ヶ国	13	42.5		42.5
集団	水産食品加工コース	ビルマ 他9ヶ国	13	75		75
個別 (C/P)	ネパール・トリプバン大学医学教育	ネパール	2	170		170
合計	4コース		41			

## (8) 沖縄国際センター

受入 形態	研修コース名 (研修科目)	国名	人数	日本語講習時間数		
				集中A	一般B	A+B
集団	視聴覚技術(一般)コース	ビルマ 他9ヶ国	10	150	-	150
集団	視聴覚技術(専修)	アルゼンチン 他8ヶ国	10	195	-	195
集団	海洋環境保全	コスタリカ 他2ヶ国	4	50	-	50
集団	航海技術	エジプト 他5ヶ国	11	315	-	315
集団	サトウキビ栽培	インドネシア 他4ヶ国	5	195	-	195
集団	熱帯農林資源の有効利用	ケニア 他4ヶ国	7	195	-	195
集団	公衆衛生技術者	インドネシア 他4ヶ国	5	195	-	195
特設	臨床看護実務	ビルマ 他5ヶ国	6	210	-	210
合計	8コース		58			

## (9) 東北支部

受入 形態	研修コース名 (研修科目)	国名	人数	日本語講習時間数		
				集中A	一般B	A+B
集団	選鉱製錬	ブラジル 他7ヶ国	8	100		100

## (10) その他

受入 形態	研修コース名 (研修科目)	国名	人数	日本語講習時間数		
				集中A	一般B	A+B
単発	オイスカ一般農業	バングラデシュ スリランカ	22	373	-	373

3. 形態別日本語研修受講実績

受入 形態	人 数	集中講習		比 率	一般講習		比 率	日本語専修		比 率
		参加者数 (人)	受入数 (人)		参加者数 (人)	受入数 (人)		参加者数 (人)	受入数 (人)	
集 団		681 / 2,517		27.1						
個 別	単 発	79	588	13.6	1,745 / 4,500	38.7		22	588	3.8
	カウンターパート	175	943	18.6						
	国 際	6	226	2.7						
	小 計	260	1,752	14.8						
特別 案件	日 墨	1	2	50.0						
	日 墨 以 外	0	229	0						
計		942 / 4,500		20.9	1,745 / 4,500	38.7		22 / 4,500	0.5	
合 計		2,687 / 4,500 (59.7)						22 / 4,500	0.5	
総 計		2,709 / 4,500 (60.2)								

4. 講習期間別日本語研修受講実績

合 計	2,709 人			
講習形態 講習形態別計	集 中 講 習		一 般 講 習	日 本 語 専 修
	942		1,745	22
受入形態別計	集 団	個 別 等	1,745	22
	681	261		
100 時間以下	1,973			
	348		1,625	
	292	56		
101 ~ 200 時間	443			
	368		80	
	252	111		
201 ~ 300 時間	192			
	192			
	126	66		
301 ~ 400 時間	30			
	30			
	11	19		
401 ~ 500 時間	0			
	0			
	0	0		
501 ~ 1,200 時間	9			22
	9			
	0	9		

注) 集中講習の継続として一般講習を実施している場合は、集中と一般の合計の講習時間を記入した。

5. オリエンテーション実施実績

(1) 東京国際研修センター

A. プログラム(4/7~8/31)

日	時 間	内 容	講 師	備 考
第 1 日 (月)・(木)	10:00 ~ 12:00  14:45 ~ 16:45	「日本の社会・風土」  「日本の歴史・文化」	吉 田 弘 (国際交流サービス協会常務理事) 清 水 良 術 (博報児童教育振興会常務理事)  池 田 百合子 (早稲田大学国際部教授) 坂 本 美樹雄 (明星大学講師)	
第 2 日 (火)・(金)	10:00 ~ 12:00  14:45 ~ 16:45	「日本の産業・技術発展史」  「日本の経済」	三 好 正 也 (経団連専務理事) 市 川 博 也 (〃 経済協力部次長) 久保田 政 一 (〃 理財部) 田 代 正 美 (〃 国際経済部) 梶 田 誠 (〃 経済協力部)  藤 原 勝 博 (経団連産業部部長) 安 斉 洋 一 (〃 開発部次長兼防衛生産委員会次長) 角 田 博 (〃 経済協力部調査役) 中 村 芳 夫 (〃 国際経済部調査役) 金 原 主 幸 (〃 国際経済部)	
第 3 日 (水)・(土)	9:00 ~ 13:00	「都内見学」	早 川 啓 子 (国際交流サービス協会専属ガイド) 西 尾 操 子 (〃 〃 ) 早 川 宗 仁	

A. プログラム(9/1~3/28)

日	時 間	内 容	講 師	備 考
第 1 日 (月)・(木)	10:00 ~ 12:00  14:45 ~ 16:45	「日本の社会・風土」  「日本の歴史・文化」	吉 田 弘 (国際交流サービス協会常務理事) 清 水 良 衛 (博報児童教育振興会常務理事)  坂 本 美樹雄 (明星大学講師)	
第 2 日 (火)・(金)	10:00 ~ 12:00  14:45 ~ 16:45	「日本の教育」  「日本の経済」	原 芳 男 (東京工業大学教授) 岩 内 亮 一 (明治大学教授) 村 田 翼 夫 (筑波大学助教授) 吉 田 弘 (国際交流サービス協会常務理事) 横 山 総 三 (〃 専務理事)  市 川 博 也 (経団連経済協力部次長) 藤 原 勝 博 (〃 産業部部長) 安 斉 洋 一 (〃 開発部次長兼防衛生産委員会次長) 角 田 博 (〃 経済協力部調査役) 久保田 政 一 (〃 理財部) 田 代 正 美 (〃 国際経済部) 梶 田 誠 (〃 経済協力部) 金 原 主 幸 (〃 国際経済部)	
第 3 日 (水)・(土)	9:00 ~ 13:00	「都内見学」	早 川 啓 子 (国際交流サービス協会専属ガイド) 西 尾 操 子 (〃 〃 ) 吉 田 照 子 (〃 〃 ) 早 川 宗 仁 (〃 職員) 飯 田 典 正 (〃 職員)	

B. 実施状況

実施回	実施期間	実数	実施対象コース(実数)	備考
第1回 (A)	4/7 ~ 4/9 (月) (水)	76	デジタル交換技術(16), 酵素工学(5), 家族計画医学保険(13), 金型工作技術(3), 農業普及(13), 貨幣勲章製造分析精練(5), 生物研究(5), 上級技能者訓練(9), マレーシア・金型設計(1), アルゼンティン・小児整形外科(1), ケニヤ・機械工学(1), セネガル・職業訓練(2), ビルマ・消化器病診断技術(1), 中国・化学工業(1)	
第1回 (B)	4/10 ~ 4/12 (木) (土)	18	リモートセンシング(7), 地方行政(10), ソマリア・人工腎臓(1)	
第2回 (A)	4/14 ~ 4/16 (月) (水)	9	船舶技術(9)	
第2回 (B)	4/17 ~ 4/19 (木) (土)	21	犯罪防止(16), バルー・植物ホルモン(1), インドネシア・醸造技術(2), インドネシア・放射線炭素年代測定(1), 韓国・電算プログラム技法開発(農業)(1)	
第3回 (A)	4/28 ~ 5/1 (月) (木)	39	通信業務(11), 港湾工学(15), 衛星通信技術(普通)(10), 家畜人工受精(3)	4/29(火)祝日
第3回 (B)	4/30 ~ 5/2 (水) (金)	24	プラント・メンテナンス(9), 植物遺伝資源(11), 中国・放射線化学基礎研究(1), パラグァイ・卸売市場の財政行政管理(2), タイ・動物実験飼育管理(1)	
第4回 (A)	5/6 ~ 5/8 (火) (木)	11	水路測量(9), フィリピン・編集(地形図作成)(1), マレーシア・東方政策経営幹部実務者研修(1)	5/5(月)祝日
第4回 (B)	5/8 ~ 5/10 (木) (土)	28	デジタル有線伝送(15), 結核対策指導者(9), パキスタン・人造り技術協力(1), インド・デジタル有線伝送(1), メキシコ・精錬及び製鋼(2)	
第5回 (A)	5/12 ~ 5/14 (月) (水)	26	建設機械整備(10), 水力発電(8), 火力発電(7), タイ・長期経済計画(1)	
第5回 (B)	5/15 ~ 5/17 (木) (土)	34	沿海鉱物資源探査(10), 鉄道線路保守管理(9), 測量技術(7), チュニジア・空調測量(1), マレーシア・栄養学(1), ザール・交通体系測量調査(1), インドネシア・殺虫剤抵抗制(1), 水力発電(2), 家畜人工受精(1), 港湾工学(1)	
第6回 (A)	5/19 ~ 5/21 (月) (水)	14	上水道施設(14)	
第6回 (B)	5/22 ~ 5/24 (木) (土)	12	都市交通セミナー(10), インドネシア・ライ病免疫学(1), フィリピン・ダム工学(1)	
第7回 (A)	5/24 ~ 5/27 (土) (火)	11	消防行政(10), エジプト・漁業管理(1)	

実施回	実施期間		実数	実施対象コース(実数)	備考
第7回 (B)	5/29 (木)	5/31 (土)	44	廃棄物処理(9), 生活改善普及(8), 家畜衛生研究(9), フィリピン・醸酵技術開発(1), タイ・醸酵技術開発(1), マレーシア・水力発電(1), インドネシア・細菌学(1), セイシェル・冷凍空調(1), ペルー・職業訓練(2), インドネシア・作物保護強化(3), シンガポール・工業電子(3), グアテマラ・地下水開発(2), エジプト・雑草防除(1), パラグアイ・稲作(一般)(1), フィリピン・電話交換(1)	
第8回 (A)	6/2 (月)	6/4 (水)	15	建築技術(12), フィジー・水産養殖(1), スリランカ・水力発電(2)	
第8回 (B)	6/5 (木)	6/7 (土)	16	稲病害虫防除(12), 中国・太陽エネルギー研究(1), ペルー・水産加工(1), ペルー・野菜生産(1), ペルー・建築技術(1)	
第9回 (A)	6/9 (月)	6/11 (水)	9	農業機械整備(8), タンザニア・農業機械整備(1)	
第9回 (B)	6/13 (金)	6/16 (月)	7	メキシコ・日墨技術教育センター(6), タイ・都市廃棄物(1)	
第10回 (A)	6/16 (月)	6/18 (水)	41	看護管理(6), 通信線路技術(17), エチオピア・地下水開発(2), 作業療法(2), ボリヴィア・鉄道施工管理(1), パナマ・職業訓練(3), ブラジル・工業技術(2), インドネシア・航空計画(1), マレーシア・海洋電気(1), マレーシア・東方政策(2), タイ・水力電気(1), インドネシア・検証計画運営管理(2), パラグアイ・家畜衛生(1)	
第10回 (B)	6/19 (木)	6/21 (土)	56	計量標準(13), 結核対策(18), サウディアラビア・繊維標準化(1), イエメン・結核対策(1), タイ・沿岸養殖(1), ユーゴスラヴィア・水産養殖(1), ホンコン・高級公務員研修(16), タイ・化学技術協力事情視察(1), エジプト・車両捜査及び維持(3), タイ・地熱開発(1)	
第11回 (A)	6/23 (月)	6/25 (水)	10	自動データ処理(8), ビルマ・漁船修理技術(2)	
第11回 (B)	6/26 (木)	6/28 (土)	25	コロンビア・小規模灌漑計画(2), フィリピン・配管, 延管(2), マレーシア・海洋学(1), 中国・統計的品質管理(5), 中国・経営管理(15)	
第12回 (A)	6/30 (月)		25	沿岸漁具漁法Ⅰ(実技)(13), 漁業共同組合(9), フィジー・土壌肥料(1), 韓国・気象災害防止(1), パラグアイ・臨床検査(1)	初日のみ
第12回 (A)	7/1 (火)	7/2 (水)	28	沿岸漁具漁法(15), 漁業協同組合(11), フィジー・土壌肥料(稲作研究開発)(1), 韓国・気象災害防止(1), パラグアイ・臨床検査(1)	
第12回 (B)	7/3 (木)	7/5 (土)	34	家族計画組織活動(13), インドネシア・砂防工学(2), モーリシャス・獣医ワクチン製造(1), パラグアイ・造林研究訓練(1), タイ・国民経済所得(1), フィリピン・航空管制(6), 中国・木材財政(1), 中国・パーティクルボード(1), 中国・接着工程(1), インドネシア・家畜病研究(4), ペルー・分析(1), ペルー・家禽(1), ボリヴィア・植物病理(1)	



実施回	実施期間		実施対象コース (実数)	備考
		実数		
第13回 (A)	7/7 ~ 7/9 (月) (水)	19	工業標準化(16), アルゼンティン・漁業教育行政(1), ボリヴィア・道路管理計画(1), ペルー・森林病虫害(1)	
第13回 (B)	7/10 ~ 7/12 (木) (土)	24	農地水資源開発(15), タイ・地形図作成(1), ザイール・橋梁保守(1), インドネシア・種子生産(1), フィリピン・工業電気(1), マレーシア・潮位観測機器保守(1), インドネシア・灌漑排水(1), 韓国・小児科(3), フィリピン・建設機械運転(2)	
第14回 (A)	7/14 ~ 7/16 (月) (水)	23	マイクロ波通信技術(15), 中国・高分子化学(1), ブラジル・工業開発(4), ブラジル・電気化学(1), ケニヤ・無線通信技術(1), フィジー・電気通信(1)	
第14回 (B)	7/17 ~ 7/19 (木) (土)	19	鉄道車両(9), インドネシア・農業普及(1), タイ・農業普及(1)・エジプト・農業普及(1), フィジー・農業普及(1), ビルマ・農業普及(1), 中国・肉類研究と加工技術(3), 韓国・半導体材料(1), 中国・食肉専門用語(1)	
第15回 (A)	7/21 ~ 7/23 (月) (水)	28	農林統計(15), 河川及びダム工学(13), エジプト・米作機械(1)	
第15回 (B)	7/24 ~ 7/26 (木) (土)	25	テレビジョン放送技術(12), ラジオ放送技術(10), 農林統計(1), ペルー・カラーテレビ技術(1), ザンビア・テレビ放送中継(1), ガーナ・送信技術(1), タイ・ビデオ工学(1)	
第16回 (A)	7/28 ~ 7/30 (月) (水)	8	選鉱精錬(7), フィリピン・マイクロコンピューター(1), コロンビア・JICA現地職員(1)	
第16回 (B)	7/31 ~ 8/2 (木) (土)	11	舗装具制作技術(4), パラグアイ・家畜栄養学(1), パラグアイ・稲作農業機械(1), インドネシア・薬品品質管理(2), 中国・水産加工技術(1), 中国・魚のすりみ加工技術(1), ネパール・葡萄栽培(1)	
第17回 (A)	8/4 ~ 8/6 (月) (水)	12	デジタル交換技術(9), ビルマ・家畜衛生(2), マレーシア・灌漑排水(1)	
第17回 (B)	8/7 ~ 8/9 (木) (土)	26	デジタル交換技術(6), 教育テレビジョン番組(11), ブラジル・材質耐火(1), ユーゴスラビア・リューマチ関節炎(1), ブラジル・燃焼性生物毒性(1), インドネシア・宇宙開発(地球磁気)(1), フィリピン・蛭養殖(1), インドネシア・砂防学(1), チリ・農地防災(1), ブルキナファソ・放送機材(1), インドネシア・ラジオTV放送技術(1), チュニジア・地形図作成(1)	
第18回 (A)	8/11 ~ 8/13 (月) (水)	27	都市計画(10), ヴェネズエラ・道路メンテナンス(1), シンガポール・生産性向上(16)	
第18回 (B)	8/14 ~ 8/16 (木) (土)	30	繊維高分子(9), 電波監視(9), パラグアイ・寄生虫学(1), チリ・家畜繁殖(1), インドネシア・リモートセンシング技術(1), タイ農業開発計画(1), チリ・港湾計画(2), ギニア・マイクロケーブル(3), ルワンダ・道路建設機械保守(1), インド・電子交換システム(1), インド・太陽エネルギー(1)	
第19回 (A)	8/18 ~ 8/20 (月) (水)	59	癌対策(10), 橋梁工学(17), 工業デザイン(5), 鉱山(13), 鉄鋼材試験検査技術(11), P.N.G.・測量技術(1), エジプト・海運経済及びデータプロセッシング(1), フィリピン・プロダクトデザイン(1)	

実施回	実施期間		実施数	実施対象コース（実施数）	備考
第19回 (B)	8/21	8/23 (木) (土)	53	地下水資源開発(8), アイソトープ放射線医学生物学(11), 腎不全対策(10), 林業林産(8), 森林造成技術者(12), フィリピン・河川工学(1), パラグアイ・コンピューターソフトウェア(2), サウジアラビア・日本語(1)	
第20回 (A)	8/25	8/27 (月) (水)	50	貿易実践指導者(11), 空港セミナー(10), 電気事業経営(9), 無線通信技術(11), 航路標識(8), ネパール・無線通信技術(1)	
第20回 (B)	8/28	8/30 (木) (土)	79	精神薄弱福祉(10), 消化管病理学(9), 電気事業経営(1), 衛生通信技術(上級)(12), 国際テレックス通信技術(10), 初処理精米加工(12), 家族計画セミナー(11), マレーシア・産業公害対策(1), ウルグワイ・臨床検査(1), エジプト・農業開発(1), スリ・ランカ, リベリア・初処理精米加工(2), メキシコ・都市計画(1), 中国・核安全放棄標準化(1), 中国・軟弱地盤戸基礎工学(1), 韓国・財政学(1), ミクロネシア・漁業(2), カタール・海洋環境研究(1), チュニジア・職業訓練(1), フィリピン・運営管理(1), インド・ビデオハードウェア(1), マレーシア・プレス加工(1), マレーシア・金型(1), タイ・構造物材料試験(1), タイ, ケニア・第3国研修(2)	
第21回 (A)	9/1	9/3 (月) (水)	26	工業所有権制度(9), 地熱エネルギー(15), ブラジル・植物組織培養(1), ボリヴィア・植物分析(1)	
第21回 (B)	9/4	9/6 (木) (土)	43	犯罪防止(16), 建設施工(10), 気象学(7), インドネシア・船舶機関(2), タイ・地方上水道整備計画(2), フィリピン・TV技術(1), フィリピン・バイオテクノロジー(1), 韓国・鉱山保安(3), ペルー・逮捕(1)	
第22回 (A)	9/8	9/10 (月) (水)	62	産業医学(12), プラスティック(9), 循環器病対策(9), 下水道技術(10), 税関行政(19), フィリピン・代替肥料研究(1), ビルマ・射出成型(職業訓練)(1), 中国・溶接技術(1)	
第22回 (B)	9/11	9/13 (木) (土)	70	化学技術研究(7), 地震工学(17), 配電技術(8), 海運経営実務(9), 経済開発セミナー(11), 雇用行政セミナー(9), ビルマ・林業試験場運営(1), インドネシア・リモートセンシング(1), 中国・標準物質検査(2), ガーナ・実験動物(1), 中国・製材(1), ネパール・水力発電(1), タイ・農業開発計画(2), マレーシア・水道施設維持管理(1), 中国・地震予知(1)	
第23回 (A)	9/16	9/18 (火) (木)	16	環境技術(9), 中近東電力(3), ザイール・水産生態増殖(2), ブラジル・洪水対策に係わる水資源管理(2)	9/15 祝日
第23回 (B)	9/18	9/20 (木) (土)	14	輸出入食品検査(8), タイ・皮膚病(1), タイ・プライマリヘルスケア(2), ボリヴィア・畜産品種改良(1), ビルマ・免疫学(1), カメルーン・雇用開発セミナー(1)	
第24回 (A)	9/22	9/25 (月) (木)	26	一般統計(26), タイ・道路建設構造工学(1)	9/23 祝日
第24回 (B)	9/25	9/27 (木) (土)	27	一般統計(5), 労働安全衛生(19), インドネシア・石炭工学(2), ユーゴスラビア・植物遺伝学(1)	
第25回 (A)	9/29	10/1 (月) (水)	40	貿易振興(13), 高速道路建設(15), メキシコ・エネルギー研修(9), インドネシア・地震工学(1), 中国地震予知(1), スリ・ランカ・工場見学(1)	

実施回	実施期間	実数	実施対象コース(実数)	備考
第25回 (B)	10/2 ~ 10/8 (木) (土)	55	自動制御(7), 結核対策細菌技術(3), 防災技術(8), 受精卵移植技術(6), 専門看護(6), マレーシア・加工技術(6), ユーゴスラビア・超音波技術(1), 韓国・水稻栽培(1), インドネシア・薬品品質管理(1), 韓国・稲病虫害(1), 中国・観光経済ガイド(1), トルコ・水力発電(2), トルコ・水力発電ダム(1), フィリピン・バイオテクノロジー(1), タイ・農業協同組合振興(5), タイ・林業普及(1), タイ・水力発電(1), マレーシア・放射線防止, 管理(3)	
第26回 (A)	10/6 ~ 10/8 (月) (水)	48	港湾セミナー(16), 観光振興セミナー(9), 石炭資源開発(8), 船員教育行政(8), メキシコ・水理模型実験(1), メキシコ・漂砂(1)	
第26回 (B)	10/8 ~ 10/11 (水) (土)	47	港湾セミナー(3), 交通警察行政セミナー(14), 開発エコノミスト(一般)(6), 鉄道電化(5), 一般統計(1), インドネシア・地震工学(1), メキシコ・養殖(1), タイ・プライマリヘルスケア(1), 中国・視聴覚教育番組(13), スーダン・食品加工改善計画(2)	10/10 祝日
第27回 (A)	10/18 ~ 10/15 (月) (水)	22	婦人関係行政セミナー(10), 交通計画セミナー(11), ビルマ・病理学(1)	
第27回 (B)	10/16 ~ 10/18 (木) (土)	77	通信網計画設計(17), タイ・ハイウェイ計画(1), ブルネイ・林業研究(1), インドネシア・熱帯病理学(1), フィリピン・土壌浸蝕管理(2), ケニア・森林利水(1), マレーシア・農業灌漑(1), フィリピン・土木工学(2), パラオ・森林土壌(2), 韓国・園芸作物(1), インドネシア・薬理学(1), エジプト・灌漑計画(4), インドネシア・灌漑排水(2), インドネシア他・水資源開発(4), フィリピン・灌漑システム維持管理(1), インドネシア・灌漑排水稲作(3), フィジー・アセアン招聘計画(10), ビルマ・アセアン招聘計画(10), P.N.G.・アセアン招聘計画(10), ザンビア・豆炭(2), フィリピン・地形図作成(1)	
第28回 (A)	10/20 ~ 10/22 (月) (水)	22	借款手続セミナー(19), フィリピン・河川工学(1), シンガポール・教育改善(1), 中国・核医学(1)	
第28回 (B)	10/23 ~ 10/25 (木) (土)	46	造船技術経営管理(9), 国土開発セミナー(7), 救難防災(特設)(6), 土壌及び基礎工学(8), 省エネルギー(10), モザンビーク・コピー機修理技術(1), タイ・植物生理学(1), イラク・土壌及び基礎工学(2), ペルー・土壌及び基礎工学(1), ブルネイ・醗酵技術(1)	
第29回 (A)	10/27 ~ 10/29 (月) (水)	14	住宅建設(14)	
第29回 (B)	10/30 ~ 11/1 (木) (土)	15	リモートセンシング(6), チュニジア・地図作成(1), チリ・水産養殖(1), 中国・環境庁発癌物質研究(1), スリ・ランカ・内科実験室(1), スリ・ランカ・内視鏡(1), タイ・港湾システム, 行政(1), 中国・昆布食品の加工技術(1), 韓国・作物生理(1), 象牙海岸, 超音波診断(1)	
第30回 (A)	11/4 ~ 11/6 (火) (木)	24	データ通信技術(14), 海洋物調査(8), ペルー・地震工学(建築構造物)(2)	11/3 祝日
第30回 (B)	11/6 ~ 11/8 (木) (土)	21	工業所有制度(10), フィリピン・環境調査(1), ビルマ・橋梁計画(1), スーダン・消化器, 耳鼻咽喉科(2), スリ・ランカ・適性技術開発(1), ユーゴスラビア・分子化学(1), ブラジル・水利工学(1), ナイジェリア・オンコセルカ対策(1), ヴェネズエラ・レントゲン技術, 機器の維持(1), ボリヴィア・経済地質学(2)	

実施回	実施期間		実施対象コース (実数)	備考
	実数			
第31回 (A)	11/25 ~ 11/27 (火) (木)	16	海老増養殖(5), ケニア・建築工学(1), ケニア・土質工学(1), ケニア・建築積算(1), ジョルダン・職業訓練(3), エジプト・小児集中看護(1), タイ・海産物検査品質管理(2), 中国・グループ技術(2)	11/24 祝日
第32回 (A)	12/ 8 ~ 12/10 (月) (水)	19	医療放射線技術(9), パラグアイ・臨床検査(1), カタル・工業デザイン(1), 中国・情報検索(7), シンガポール・エレクトロニクス(1)	
第33回 (B)	1/ 8 ~ 1/10 (木) (土)	14	船舶技術(7), 中国・放射線化学分析(1), 中国・理科教育(1), 韓国・野菜生理学(1), タイ・配電指令制度(2), 韓国・農作物胚原質(1), 韓国・農作物成長調整(1)	
第34回 (A)	1/12 ~ 1/14 (月) (水)	73	早期胃癌診断(20), ガラス工学(9), 認証検査制度(11), 中小企業対策(12), 産業環境対策(9), ビルマ・消化器病(3), パナマ・産業医学(1), ベルギー・食品微生物(1), タイ・工業製品(1), 中国・地震予知(1), スリランカ他・小児専門医療(3), ブラジル・PCB公害防止技術(1), タイ・沿岸養殖(1)	
第34回 (B)	1/14 ~ 1/18 (水) (土)	94	国際電話通信技術(18), 国際データ通信技術(18), 水産食品加工(10), 鉄道信号(8), 農業利用(7), コンテナ埠頭整備計画(7), 行政情報制度(11), 原子力発電(6), 小児専門医療(5), タイ・金属加工(2), インドネシア・鉱山(1), ビルマ・宝石研磨(3), インドネシア・地域保健対策(2), タイ・プライマリヘルスケア(2), マレーシア・ビール菌研究訓練計画(2), マレーシア・運輸管理(1), ベルギー・工作技術(1)	1/15 祝日
第35回 (A)	1/19 ~ 1/21 (月) (水)	48	熱帯医学研究(7), 貿易振興セミナー(9), 小型漁船機関(4), 沿岸漁具漁法(8), 消化器超音波診断(7), 養殖一般(10), 韓国・生命工学(1), エジプト・プラズマ物理学(1), ザンビア・鉱物探査(1)	
第35回 (B)	1/22 ~ 1/24 (木) (土)	78	環境行政(10), 寄生虫予防指導者(9), 教育テレビジョン番組(10), 原子力基礎実験(8), テレビジョン放送技術(9), メキシコ・雷(電力線保全)(2), シンガポール・下水自動処理装置操作保守(1), 中国・科学技術管理(19), インドネシア・ラジオ, テレビ放送訓練(2), リベリア・テレビジョン放送技術(2), スーダン・テレビジョン送信機技術(1), シンガポール・テレビジョン放送技術(2), ベルギー・病院管理(1), ユーゴスラビア・建築学(2)	
第36回 (A)	1/26 ~ 1/28 (月) (水)	27	石油化学工業(16), 自動車技術行政(9), タイ・技術協力計画視察(1), インドネシア・地方道路(1)	
第36回 (B)	1/29 ~ 1/31 (木) (土)	57	空港管理保安(6), 放送技術(18), 研究開発技術(9), マレーシア・地方行政(7), フィリピン・航空管制機器管理(1), パナマ・気管内視鏡(1), ザンビア・超音波診断(1), マレーシア・資源開発(1), ドミニカ・鉱山開発(1), インドネシア・野菜生産(1), 中国・浄水場管理, 施設整備(2), インドネシア・職業訓練(エレクトロニクス)(3), インドネシア・船員教育運営(1), ベトナム・環境視察(1), ボリビア・経済地質(1), ケニア・園芸開発計画(2), パラグアイ・製材所運用維持(1)	
第37回 (A)	2/ 2 ~ 2/ 4 (月) (水)	22	犯罪防止上級コース(22)	
第37回 (B)	2/ 5 ~ 2/ 7 (木) (土)	16	放射線科学基礎研究(7), タイ・橋梁工学(2), 韓国・素材成型工程(1), ネパール・コンタクトレンズ, 義眼(2), フィリピン・水力発電(2), 中国・地震予知(1), 韓国・光通信技術(1)	

実施回	実施期間		実施数	実施対象コース (実施数)	備考	
第38回 (A)	2/9	2/12 (木)	59	野菜採種(10), 野菜生産(8), 稲作(専修)(6), 稲作機械化(10), 水管理(8), 灌漑排水(12), パキスタン・燃料技術(1), インドネシア・化学工業研修開発(1), ガーナ・編物技術(1), マレーシア・コンピューター制度開発(2)	2/11 祝日	
第38回 (B)	2/12	2/14 (土)	35	都市整備(12), 貨物荷役業務(8), エチオピア・港湾管理(2), ペルー・金属品質検査(1), インドネシア・植物栽培整理(1), インドネシア・ウイルス同定技術(1), インドネシア・大豆菌の根粒研究(1), 中国・肉類研究, 加工技術(2), インドネシア・幹線道路網整備計画(1), シンガポール・沖合廃棄物処理(1), マレーシア・中小企業(1), マレーシア・マレーシア東方政策(2), パラグアイ・ファイバー胆道鏡(1), インドネシア・機械(1)		
第39回 (A)	3/2	3/4 (水)	4	アルゼンティン・選鉱プラント開発(1), メキシコ・資源開発協力基礎調査(1), 中央アフリカ・養鶏(1), タイ・教育(1)		
第39回 (B)	3/5	3/7 (土)	20	魚類整理防疫(4), 鉱山保安(8), タイ・都市道路改良交通安全計画(1), インド・地下鉄工事(2), 韓国・射種金型設計(1), タイ・金属加工(1), 中国・鉱山物検査研究(1), タイ・皮膚病(1), スリランカ・内視鏡(1)		
第40回 (A)	3/9	3/11 (水)	25	農業機械設計(9), 稲作(一般)(11), ビルマ・稲作(1), タンザニア・稲作(1), タイ・都市計画(1), ビルマ・ウィルス学(消化器感染症)(1), ギニアビサオ・稲作機械化(1)		
第40回 (B)	3/12	3/14 (土)	23	ウルグァイ・植物病理(1), 韓国・農業気象災害研究(1), ネパール・テレビ放送技術(テレビ放送網)(2), パラグアイ・森林開発技術(林業開発)(1), パラグアイ・木工技術(林業開発)(1), タイ・養蚕技術(1), ウルグァイ・臨床検査(1), タイ・昆虫病の生物的管理(1), タイ・奇病対策(1), タイ・精製物の品質管理(1), ケニヤ・ウィルス学(1), タイ・青少年開発(小規模工業)(2), フィリピン・農業開発(1), スリ・ランカ・会計検査実務(1), 中国・地震予知(1), タイ・雑草研究開発(1), 中国・誘致気象の研究(1), 中国・耐冷品種の検定方法(1), 中国・鉱山物検査研究(2), 中国・昆布乾燥, 食品加工(1)		
第41回 (A)	3/23	3/25 (水)	2	マレーシア・測量技術(グラフィック)(1), フィリピン・海老養殖技術(1)		
第41回 (B)	3/26	3/28 (土)	19	中国・電子化機械製品自動車組立技術(1), 中国・コンピューター援用計画(1), マレーシア・厚子力分析(1), マレーシア・家畜病訓練計画(1), マレーシア・農業開発政策(1), パキスタン・鉄鋼製造(3), フィリピン・熱帯医学(1), タイ・視聴覚教材(1), タイ・地方上水道整備計画(1), タイ・水力発電(1), タイ・家畜衛生(動物学)(1) アルゼンティン・家畜ウィルス研究(1), マレーシア・繊維製品製造(1), パキスタン・資源開発基礎調査(3), コスタリカ・電気顕微鏡(1)		
	合	計	2,487			

## (2) 八王子国際研修センター

## A プログラム

プログラム	講師名
1. JICA・HITC 概要説明	センター職員
2. 日本事情講義	
(1) よりよい暮らし生活のために	横山綾三、三保 元、吉田 弘
(2) 日本の教育	原 芳男
(3) 日本の行政機構	山口房雄、宇都宮深志
(4) 日本の文化史	坂本美樹雄
(5) 日本の経済	首藤信彦、林 正寿、佐藤知子、勝俣 誠
(6) 日本のことば	三保 元
(7) 日本的経営	中山裕史
3. 「ことばと生活」講義	花村和子、真上章子、星野和子
4. 都内見学 新宿新都心 明治神宮 T I C 霞ヶ関官庁街 東京タワー(雨天の際はNHK)	インストラクター (西尾操子、桜庭則子)
5. 日本紹介映画 「日本の四季」 「日本のスポーツ」 「新幹線の旅」 「課長」 「今日の日本」	映写技師 田畑 まゆみ 加藤

## B 実施状況

回	参加人数	対象コース
第 1 回 ( 4/12 )	14	衛生行政セミナー
第 2 回 ( 4/22 - 4/25 )	41	職業訓練指導員コース
第 3 回 ( 5/13 - 5/16 )	21	監督者訓練セミナー テレビ放送管理コース
第 4 回 ( 6/ 3 - 6/ 6 )	13	開発エコノミストコース
第 5 回 ( 7/ - 7/12 )	13	会計検査セミナー
第 6 回 ( 7/15 - 7/18 )	10	労働統計セミナー
第 7 回 ( 8/26 - 8/29 )	15	職業訓練セミナー
第 8 回 ( 9/ 2 - 9/ 6 )	21	一般租税セミナー
第 9 回 (10/ 1 - 10/ 3 )	5	職業訓練研究課程コース
第 10 回 (10/28 - 10/31 )	9	労使関係行政セミナー
第 11 回 ( 1/13 - 1/17 )	9	建設機械整備コース
第 12 回 ( 1/20 - 1/23 )	12	バストラック整備技術コース
第 13 回 ( 2/10 - 2/14 )	10	大気保全コース
第 14 回 ( 2/17 - 2/24 )	8	職業訓練セミナー(Ⅱ)
第 15 回 (11/ 6 )	8	中国鉄道技術協力
合 計	209	

(3) 名古屋国際研修センター

A プログラム

プログラム	講師名
1. JICA・NITC概要説明 (生活オリエンテーション)	センター職員
2. 日本文化と歴史 (2.5 h × 2)	南山大学教授 西 脇 博
3. 技術移転, 日本から何を学ぶか (2.5 h)	中京大学教授 日比野 省 三
4. 日本の行政と経済 (2.5 h × 2)	南山大学教授 明 石 陽 至
5. 健康管理, 火災予防等	嘱託医師 岩井鍼三, 名東消防署職員
6. 見 学	トヨタ自工, 県産業貿易館, 名古屋港等 (溶接, 窯業コースは東山公園, サッポロビール, 明津村等も見学)

B オリエンテーション実施状況

実施回	(注1) 期 間	参加人数	集 団 コ ー ス 名
第 1 回	4/11 - 5/16	8	綿織布技術集団研修コース
第 2 回	10/ 3 - 11/ 5	13	工業開発計画実務集団研修コース
第 3 回	4/11 - 5/16	7	金属表面処理技術集団研修コース
第 4 回	4/11 - 5/15	6	糊着彩技術集団研修コース
第 5 回	4/11 - 9/ 3	7	窯業技術集団研修コース
第 6 回	4/11 - 9/20	12	溶接技術集団研修コース
第 7 回	5/19 - 6/17	8	養鶏集団研修コース
第 8 回	8/22 - 9/24	9	タイル製造技術集団研修コース
第 9 回	8/22 - 9/25	11	鋳造技術集団研修コース
第 10 回	10/ 3 - 11/ 5	8	耐火物製造技術集団研修コース
第 11 回	11/ 7 - 12/ 9	10	木材工業機械集団研修コース
第 12 回	10/ 3 - 11/12	10	金属加工技術集団研修コース
第 13 回	10/ 3 - 11/ 5	8	治工具生産技術集団コース
第 14 回	4/11 - 5/ 6	11	中小企業振興指導者訓練集団研修コース
第 15 回	1/19 - 2/13	10	電気製鋼技術集団研修コース
第 16 回	1/19 - 3/ 2	9	熱処理技術集団研修コース
	合 計	147人	

(注1) 名古屋センターにおけるオリエンテーションは, 来日後, 約1カ月間, 日本語研修と組み合わせて実施する。

(注2) なお, 中小工業開発セミナー(11名), 繊維機械工業セミナー(10名)及び電気事業経営コース(11名)の3コースについては, 1日のみの生活オリエンテーションを実施した。

## (4) 沖縄国際センター

## A プログラム

日	内 容	講 師
第 1 日 (月)	所 長 挨拶 JICA事業説明 OIC概要説明 日本の政治と行政	OIC 業務課 〃 琉球大学講師：玉城宏彦
第 2 日 (火)	日本の経済と沖縄 日本の経済協力 (沖縄とアセアン) 日本紹介ビデオ紹介	沖縄国際大学教授：比嘉輝幸 琉球大学教授：嘉数啓 琉球大学講師：安座間喜松
第 3 日 (水)	沖縄の人文地理 (沖縄の占める位置) 日本のことば (沖縄方言の特色)	琉球大学教授：宮城真宏 琉球大学助教授：島袋伸三 琉球大学教授：屋比久浩 琉球大学教授：川平博一 琉球大学助教授：興儀憲徳
第 4 日 (木)	日本の教育 日本の文化と沖縄	沖縄国際大学教授：西平功 琉球大学教授：照屋善彦
第 5 日 (金)	島内見学	浦添市表敬，博物館見学

## B 実施状況

開 催 回 期	参加人数	備 考
第 1 回 ( 4/ 8 ~ 4/12 )	39	システムエンジニア(A)(9)，航海技術(11)， インストラクター(11)，日本語専修(A)(8)
第 2 回 ( 4/14 ~ 4/18 )	14	データベースシステム設計(14)
第 3 回 ( 5/ 6 ~ 5/10 )	17	マネジメント(12)，マネジメントアセアン特設(5)
第 4 回 ( 6/16 ~ 6/19 )	13	パーソナルコンピューター(A)(13)
第 5 回 ( 6/30 ~ 7/ 4 )	20	視聴覚技術(専修)(10)，公衆衛生技術者(5)， サトウキビ栽培(5)
第 6 回 ( 7/28 ~ 8/ 1 )	21	シニアプログラマ(A)(14)，熱帯農林資源の有効利用(7)
第 7 回 ( 8/25 ~ 8/29 )	24	パーソナルコンピュータ(B)(14)，海洋保全(4)， 臨床看護実務(6)
第 8 回 ( 9/16 ~ 9/20 )	6	森林土壌(6)
第 9 回 ( 10/ 6 ~ 10/10 )	27	日本語専修(B)(14)，システムエンジニア(B)(13)
第 10 回 ( 11/10 ~ 11/14 )	15	シニアプログラマ(B)(15)
第 11 回 ( 12/ 8 ~ 12/12 )	17	オンラインシステム設計(17)
第 12 回 ( 1/12 ~ 1/16 )	13	視聴覚技術(一般)(13)
合 計	226 人	



## V 青年招へい事業実績

1. 「21世紀のための友情計画」(青年招へい事業)

各国別受入実績(昭和59年度～61年度)

国名	分野名	昭和59年度		昭和60年度		昭和61年度		合計	
		計画数	受入実績	計画数	受入実績	計画数	受入実績	計画数	受入実績
ブルネイ	アセアン混成 教員・学生 青年指導者 公務員	5 0 0 0	5 0 0 0	10 10 10 0	10 10 10 0	10 20 10 10	9 20 10 10	25 30 20 10	24 30 20 10
	小計	5	5	30	30	50	49	85	84
インドネシア	アセアン混成 公務員・学生 青年指導者	5 0	5 0	10 20	10 17	10 20	9 19	25 40	24 36
	農村青年	24	24	25	24	25	23	74	71
	農教員	24	26	25	24	25	27	74	77
	学生	24	22	25	21	25	26	74	69
	都市	24	23	25	25	25	25	74	73
	都市勤労青年	48	49	20	29	20	21	88	99
小計	149	149	150	150	150	150	449	449	
マレーシア	アセアン混成 農村青年 都市勤労青年	5 29 18	5 27 18	10 25 18	10 25 19	10 20 20	10 20 20	25 74 56	25 72 57
	農教員	30	30	30	25	25	25	85	80
	学生	20	20	25	20	25	25	70	65
	青年指導者	30	30	25	25	25	25	80	80
	公務員	17	17	17	19	25	25	59	61
	スポーツ選手	0	0	0	5	0	0	0	5
	小計	149	147	150	148	150	150	449	445

国名	分野名	昭和59年度		昭和60年度		昭和61年度		合計	
		計画数	受入実績	計画数	受入実績	計画数	受入実績	計画数	受入実績
フィリピン	アセアン混成	5	5	10	10	10	10	25	25
	アセアン混成	24	16	24	20	25	25	73	61
	アセアン混成	48	61	45	47	45	47	138	155
	アセアン混成	24	23	24	27	25	22	73	72
	アセアン混成	24	20	22	21	20	20	66	61
	アセアン混成	24	24	25	25	25	26	74	75
	小計	149	149	150	150	150	150	449	449
シンガポール	アセアン混成	5	4	10	10	10	10	25	24
	アセアン混成	30	30	26	26	25	25	81	81
	アセアン混成	12	12	20	20	20	20	52	52
	アセアン混成	57	56	48	48	48	46	153	150
	アセアン混成	20	22	23	23	23	22	66	67
	アセアン混成	25	25	23	23	24	27	72	75
	小計	149	149	150	150	150	150	449	449
タイ	アセアン混成	5	5	10	10	10	10	25	25
	アセアン混成	38	38	50	50	50	50	138	138
	アセアン混成	38	38	30	30	30	30	98	98
	アセアン混成	38	38	30	30	30	30	98	98
	アセアン混成	30	30	30	30	30	30	90	90
	小計	149	149	150	150	150	150	449	449
ビルマ	青年指導者	0	0	0	0	10	10	10	10
フィジー	公務員	0	0	0	0	10	10	10	10
PNG	教員	0	0	0	0	10	10	10	10
合計		750	748	780	778	830	829	2360	2355

昭和61年度より太平洋諸国（フィジー・PNG）およびビルマを新規に受入対象国としたため、アセアン青年招へい事業は、青年招へい事業と名称を変更した。

備考

本実績表のうち、数種類については電子計算機からの出力リストをそのまま、あるいは一部手を加えて使用した。  
 詳細については、各システムの「業務処理要領」参照のこと。

項番	実績表名称	システム名	J O B 依頼書	J O B-ID等	総表作成	備考			
10	(新規) 国別・分野別受入実績	情管・個人統計システム <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>情 管</td></tr> <tr><td>J R</td></tr> <tr><td>83-10</td></tr> </table>	情 管	J R	83-10	分野別人数実績表出力依頼書	F 6 R 110 の前半部分	有	
情 管									
J R									
83-10									
31	(新規) 国際機関受入実績(機関別・分野別)	F 6 R 210 //	無						
34	(継続) 国別・分野別受入実績	F 6 R 110 の後半部分	有						
36	(継続) 国際機関受入実績(機関別・分野別)	F 6 R 210 //	無						
37	(累計) 国別・年度別受入実績累計	事業人数実績統計システム <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>情 管</td></tr> <tr><td>J R</td></tr> <tr><td>83-10</td></tr> </table>	情 管	J R	83-10	リスト随時出力処理依頼書	F 4 R 130 の前半部分	有	J O B 依頼書はそれぞれ 1枚ずつ必要
情 管									
J R									
83-10									
38	(累計) 国別・分野別受入実績累計	F 4 R 110 //	有						
39	(累計) 国際機関受入実績累計(機関別・年度別)	F 4 R 250 //	無						
40	(累計) 国際機関受入実績累計(機関別・分野別)	F 4 R 110 //	無						

尚、出力リスト中の延入月数については、昭和56年度より実績人数に対する延入月数(当該合計年度内)を集計したものである。

国際協力事業団事業実績表(総務部・情報管理課作成)の第1頁「統計を見るときにの注意事項」参照のこと。

システム名  
 情報・個人統計システム

部 課	
承認	作成
年月日	年月日

研 修 員  
 分野別人数実績表出力依頼書

1 分野別ファイル作成JOB

F6RKEN

① 期間指定パラメータ(必須)

//KIKANPAR SYS=TI DD \*

区 分	データ抽出期間	M/M 計算期間
	自 至	自 至
Y11985		

記入方法  
 月指定: IMYYYYMM~YYYYMM, YYYYYM~YYYYMM  
 年度指定: IYYYYY  
 暦年指定: ICYYYYY

② 任意抽出パラメータ(任意)

//KEYPAR SYS=TI DD \*

個人統計ファイル 項目位置	条件	判定コンスタント
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35		
KIEIYI=IC	0101619	= 111, 101619, 11101131
KIEIYI=IC		
KIEIYI=IC		
KIEIYI=IC		
KIEIYI=IC		

=: 等しい  
 #: 等しくない  
 >: より大きい  
 <: より小さい

2 リスト出力JOB

依頼したいJOBに○をつける。

JOB名	出力リスト
○ F6R110	事業・地域・国・形態・分野別
F6R120	事業・形態分類・地域・国・分野別
○ F6R210	事業・国際機関・形態・分野別
F6R220	事業・形態分類・国際機関・分野別
F6R230	事業・地域・国・国際機関・形態・分野別
F6R240	事業・国際機関・地域・国・形態・分野別

3 エリア削除JOB

F6R999

システム名  
 事業人数実績統計システム

部 課	
承認	依頼者
月 日	月 日

リスト随時出力処理依頼書

下記に示す条件により随時出力処理を依頼します。

JOB名  
 F4R110

出力依頼票より  
 該当のJOB名を  
 記入すること

1. 年度指示パラメータ(必須)

処理開始年度	処理終了年度	未使用
1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	
1 2 9	1 6 0	

和暦で記入  
 (単年度の場合は)  
 同一年度を記入)

2. 抽出条件パラメータ

基本マスタ 項目位置	条件	判定コンスタント
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34		
KIEIYI=IC	010107	= 111, 101007, 11101131
KIEIYI=IC		
KIEIYI=IC		
KIEIYI=IC		
KIEIYI=IC		

=: 等しい  
 #: 等しくない  
 >: より大きい  
 <: より小さい

3. 出力依頼履歴(該当する履歴のJOB名を上段のJOB名欄に記入すること)

順番	JOB名	様 類 名	順番	JOB名	様 類 名
1	F4R100	地域・国・形態・分野別	8	F4R220	事業・形態分類・国際機関・分野別
②	F4R110	事業・地域・国・形態・分野別	9	F4R230	事業・地域・国・国際機関・形態・分野別
8	F4R120	事業・形態分類・地域・国・分野別	10	F4R240	事業・国際機関・地域・国・形態・分野別
④	F4R130	事業・地域・国・形態・年度別	①	F4R250	事業・国際機関・形態・年度別
5	F4R140	事業・形態分類・地域・国・年度別	12	F4R260	事業・形態分類・国際機関・年度別
6	F4R200	国際機関・形態・分野別	13	F4R300	マスタファイル一覧表
⑦	F4R210	事業・国際機関・形態・分野別			





JICA